

平戸市議会だより

とかいせん



▲平成27年度平戸市子ども議会開催！
市内9中学校の生徒18人が議員となり、昨年度行われた一般質問の再質問を行いました。

9月補正予算決まる！

第45号

平成27年11月1日発行
9月定例会報告

contents

- 9月定例会で審議された案件と結果 2
- 9月定例会 ここに注目 3
- 交通網整備対策特別委員会中間報告
委員会報告！
- 総務常任委員会 4～6
- 産業建設常任委員会 7～9
- 文教厚生常任委員会 10～12
- 議会運営委員会行政視察報告 13
- 行財政改革特別委員会最終報告 14

市政を問う！ 10名の議員が一般質問に立つ

- 竹山 俊郎議員、住江 高夫議員 15
- 川上 茂次議員、近藤 芳人議員 16
- 山崎 一洋議員、山田 能新議員 17
- 松瀬 清議員、松尾 実議員 18
- 山内 政夫議員、大久保堅太議員 19
- トピックス！** 20
- 平戸市市制施行 10周年記念式典
ひびき



photo gallery

平戸市市制施行10周年記念式典

○とき 平成27年10月1日
○ところ 平戸文化センター



①式典であいさつを述べる吉住威三美議長
②式典後に行われた祝賀会の様子 ③特別
功労賞を受賞し、謝辞を述べる高田明氏
④⑤「未来の平戸」中学生作文コンクール
で優秀賞を受賞した作文を発表する中部中
学校3年 中田優香さんと平戸中学校3年 相
知紀史さん ⑥アトラクションで披露され
た田平地区の「荻田浮立」 ⑦平戸地区の「田
助ハイヤ節」 ⑧生月地区の「生月勇魚捕唄」
⑨名誉市民証書を受け取る白濱信氏

ひびき

初夏、平戸の田園風景は、田植え後の鏡のように輝く水面、夏の日差しを浴びながら力強く成長し、秋風にそよそよと揺られる黄金色の稲穂。見ていると四季折々の姿に心癒される。

そんな美しい田んぼは日本の原風景であり、平戸の魅力でもある。

稲作は縄文時代後期に大陸より伝わったとされる。お米づくりはたくさんの人々が力を合わせる必要がある。人が集まり、そこに村ができ、お互いを助け合う「結（ゆい）」と呼ばれる精神が生まれた。

また、人と自然、地域や家族、伝統文化など、人が生きるために、その役割を果たすべく時代を繋ぎ築き、人の生命とともに、日本人の分野ごとの器用な技術や関係も生み育てた。

これからの稲作を平戸の「結」を深めるための産業と位置付け、市政繁栄と発展に繋がる原点とした。

我々の命を繋ぐ使命の下、食卓にあがった新米に今一度手を合わせ、思いを込めて「いただきます」。

(神田全記副委員長)